

JESCO 豊田PCB廃棄物処理 事業だより(No.155)

1. PCB処理安全監視委員会について

2月6日(月)に、平成28年度第2回「豊田市PCB処理安全監視委員会」(主催:豊田市)が豊田PCB処理事業所で開催されました。

今回の監視委員会では、豊田PCB処理事業所での処理の進捗状況や運転廃棄物の処理などが順調に進んでいることを報告しました。

また、豊田市からは、豊田PCB処理事業所への立入検査の実施状況と1月25日に開催された監視委員会作業部会について報告がありました。

そして、環境省からは、PCBの早期処理に向けた国の取組内容について説明が行われました。



さらに、豊田市並びに東海4県からは、昨年改正されたPCB廃棄物処理基本計画に定められた期限内の処理完了に向けたPCB保管事業所に対する処理促進の取組内容について説明がありました。これに対し、各委員からは、スケジュール感を持った取り組みを行うよう要請がありました。

2. 毎月21日は安全の日

平成19年2月21日から毎月21日を『安全の日』と定め、始業前に安全集会を実施しています。(21日が休日の場合、その前営業日に実施)

また、施設内の安全を確認するためにパトロールも実施しています。

この『安全の日』は、過去の事故・トラブルを忘れず、常に安全に操業し、事故等の再発を防止することを目的として定めたものです。



3. 産業医による健康講話の実施について



豊田事業所では社員の健康管理の一環として、産業医による健康講話を定期的実施しており、本年度第3回目を1月24日(火)に開催しました。

今回のテーマは「冬の健康管理について」でした。インフルエンザや感染性胃腸炎の予防・処置方法についての説明や、冬場に多く発症する心臓病について講義を受けました。

特に心臓病については、寒冷刺激で血圧が上昇し、心臓に負担がかかる季節なので、室内外にかかわらず防寒対策が必要だということです。例えば、風呂場で倒れるケースも脱衣所や浴室を温めることなどが予防のポイントであると教えていただきました。

PCB処理事業紹介シリーズ 第25回

当施設からの排気は、施設内の空気中に含まれるPCBを吸引し、オイルシャワーで溶解除去した後、更に活性炭吸着槽を通して安全に排出しています。活性炭は定期的に交換しており、PCB濃度分析を行った上で、外部の無害化処理認定施設へ払い出しています。

(1)ドラム缶の払出し準備

1回にドラム缶を60本分を準備します。ドラム缶の内側に錆や破損がないことを確認した上で、廃棄する活性炭を詰めます。1缶当たり150kg前後の重量となります。ドラム缶蓋と蓋固定用バンドが確実に閉まっているかを確認後、払出しトラックに積み込みまでの移動中に荷崩れしないよう、パレット毎に固定します。



(2)払出しトラックへの積み込み

ドラム缶を固縛してパレットに載せた状態で、リフトを用いて払出しトラックの荷台まで移動します。安全確保のため、リフト運転手に補助者が数人付いて、リフト周辺の安全確保やリフトの高さ等の調整を補助します。



デジ丸

問い合わせ先

アザランのピーちゃん

中間貯蔵・環境安全事業株式会社(JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話:0565-25-3110 FAX:0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>